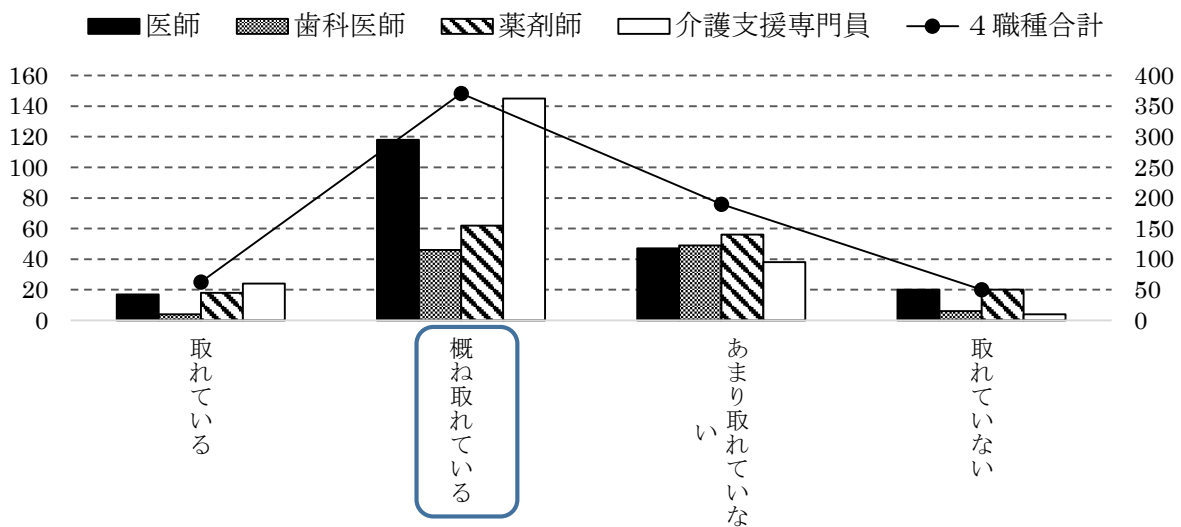


在宅医療・介護連携についてのアンケート

職種名	発送数	回答数 (回答施設数)	回答率
医師	425	208 (196)	48.9% (46.1%)
歯科医師	233	107 (107)	45.9% (45.9%)
薬剤師	222	166 (162)	74.8% (73.0%)
介護支援専門員	251	217 (190)	86.5% (75.7%)
合計	1,131	698 (655)	61.7% (57.9%)

問1. 在宅で医療と介護を必要としている高齢者の支援における、在宅医療と介護の連携について、現在、在宅医療や介護に関わる多職種との連携はうまく取れていると思いますか。一つ選んでください。(回答：医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員)

	4職種合計		医師		歯科医師		薬剤師		ケアマネ	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
取れている	63	9.3%	17	8.4%	4	3.8%	18	11.5%	24	11.4%
概ね取れている	371	55.0%	118	58.4%	46	43.8%	62	39.7%	145	68.7%
あまり取れていない	190	28.2%	47	23.3%	49	46.7%	56	35.9%	38	18.0%
取れていない	50	7.4%	20	9.9%	6	5.7%	20	12.8%	4	1.9%

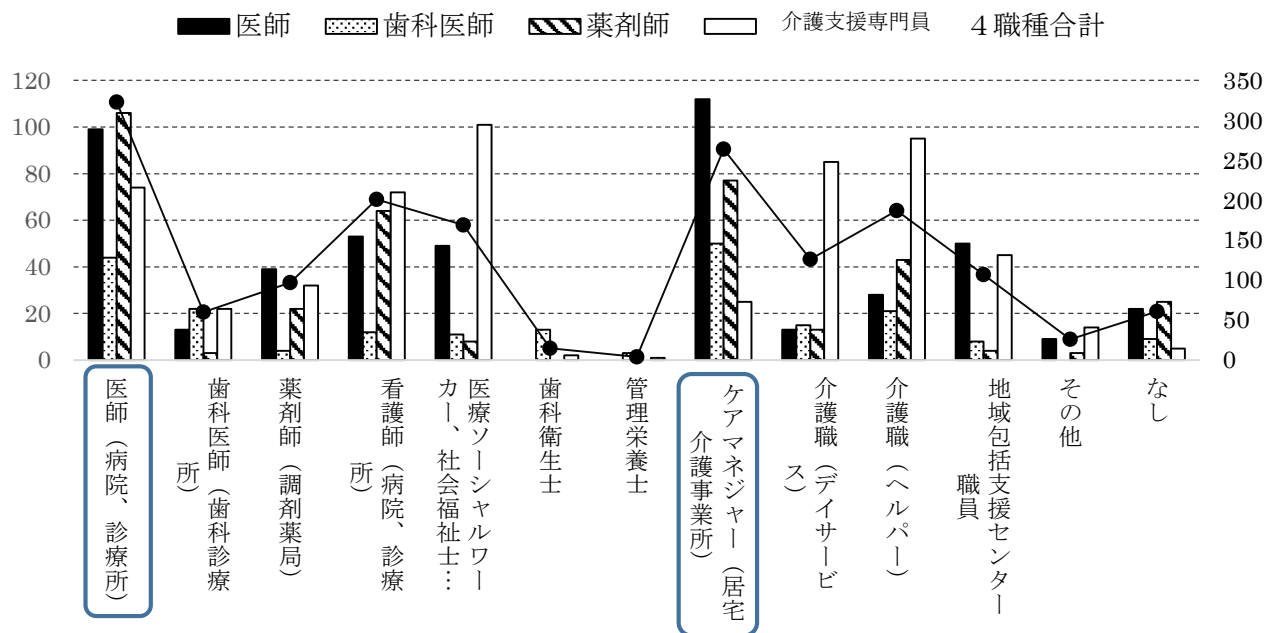


○職種によって「多職種」のとらえ方に多少違いがあると思われるが、4職種とも概ね連携は取れているとの回答が多い。

○医師と介護支援専門員で「概ね取れている」との回答が特に多い。

問2. よく連携が取れていると感じている事業所、職種を上げて下さい。(上位3つまで。選択肢に適切なものが無い場合は、「その他」に具体的な職種や機関名を記入して下さい。)
 (回答 : 医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員)

	4職種合計		医師		歯科医師		薬剤師		ケアマネ	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
医師 (病院、診療所)	323	19.7%	99	20.3%	44	20.8%	106	28.8%	74	12.9%
歯科医師 (歯科診療所)	60	3.7%	13	2.7%	22	10.4%	3	0.8%	22	3.8%
薬剤師 (調剤薬局)	97	5.9%	39	8.0%	4	1.9%	22	6.0%	32	5.6%
看護師 (病院、診療所)	201	12.3%	53	10.9%	12	5.7%	64	17.4%	72	12.6%
医療ソーシャルワーカー、社会福祉士 (病院、診療所)	169	10.3%	49	10.1%	11	5.2%	8	2.2%	101	17.6%
歯科衛生士	15	0.9%	0	0.0%	13	6.1%	0	0.0%	2	0.3%
管理栄養士	4	0.2%	0	0.0%	3	1.4%	0	0.0%	1	0.2%
ケアマネジャー (居宅介護支援事業所)	264	16.1%	112	23.0%	50	23.6%	77	20.9%	25	4.4%
介護職 (デイサービス)	126	7.7%	13	2.7%	15	7.1%	13	3.5%	85	14.8%
介護職 (ヘルパー)	187	11.4%	28	5.7%	21	9.9%	43	11.7%	95	16.6%
地域包括支援センター職員	107	6.5%	50	10.3%	8	3.8%	4	1.1%	45	7.9%
その他	26	1.6%	9	1.8%	0	0.0%	3	0.8%	14	2.4%
なし	61	3.7%	22	4.5%	9	4.2%	25	6.8%	5	0.9%



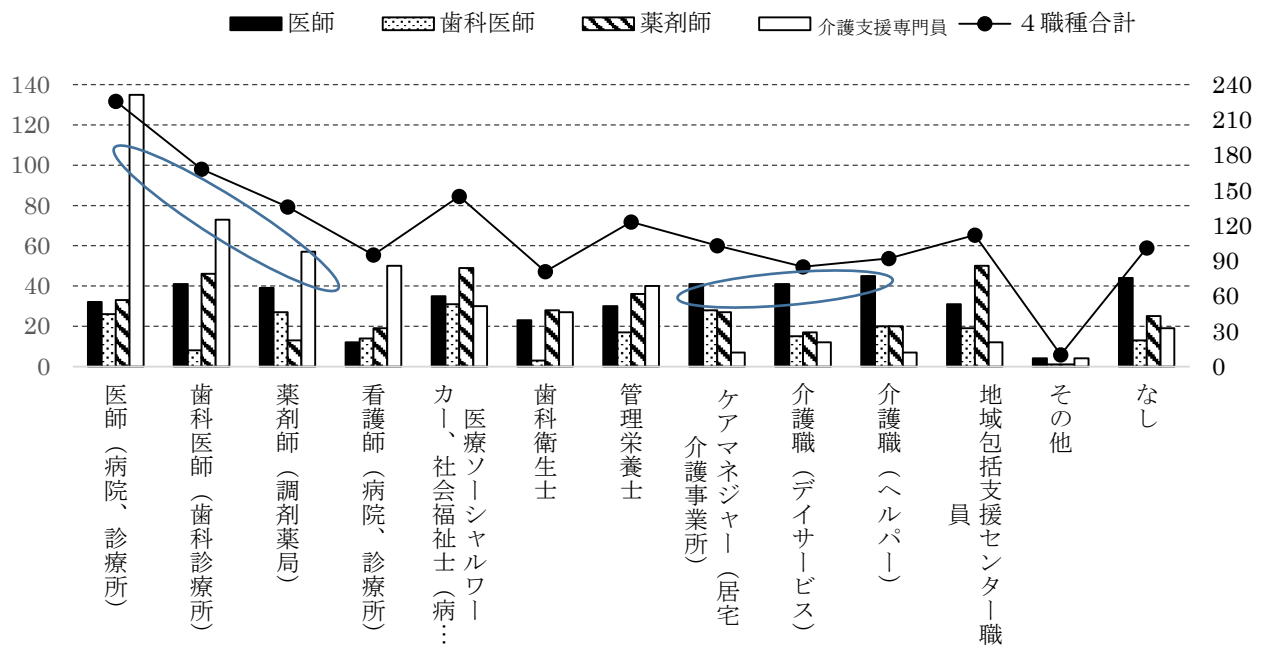
○医師は介護支援専門員 (ケアマネジャー) と連携が取れているという回答が多い。

○介護支援専門員 (ケアマネジャー) は医療ソーシャルワーカー、デイサービスやヘルパーといった介護職と連携が取れているという回答が多い。

問3. 連携が取りにくいと感じている事業所、職種を上げて下さい。(上位3つまで。選択肢に適切なものが無い場合は、「その他」に具体的な職種や機関名を記入して下さい。)

(回答：医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員)

	4職種合計		医師		歯科医師		薬剤師		ケアマネ	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
医師（病院、診療所）	226	15.3%	32	7.7%	26	11.7%	33	9.1%	135	28.5%
歯科医師（歯科診療所）	168	11.4%	41	9.8%	8	3.6%	46	12.6%	73	15.4%
薬剤師（調剤薬局）	136	9.2%	39	9.3%	27	12.2%	13	3.6%	57	12.1%
看護師（病院、診療所）	95	6.4%	12	2.9%	14	6.3%	19	5.2%	50	10.6%
医療ソーシャルワーカー、社会福祉士（病院、診療所）	145	9.8%	35	8.4%	31	14.0%	49	13.5%	30	6.3%
歯科衛生士	81	5.5%	23	5.5%	3	1.4%	28	7.7%	27	5.7%
管理栄養士	123	8.3%	30	7.2%	17	7.7%	36	9.9%	40	8.5%
ケアマネジャー（居宅介護支援事業所）	103	7.0%	41	9.8%	28	12.6%	27	7.4%	7	1.5%
介護職（デイサービス）	85	5.8%	41	9.8%	15	6.8%	17	4.7%	12	2.5%
介護職（ヘルパー）	92	6.2%	45	10.8%	20	9.0%	20	5.5%	7	1.5%
地域包括支援センター職員	112	7.6%	31	7.4%	19	8.6%	50	13.7%	12	2.5%
その他	10	0.7%	4	1.0%	1	0.5%	1	0.3%	4	0.8%
なし	101	6.8%	44	10.5%	13	5.9%	25	6.9%	19	4.0%

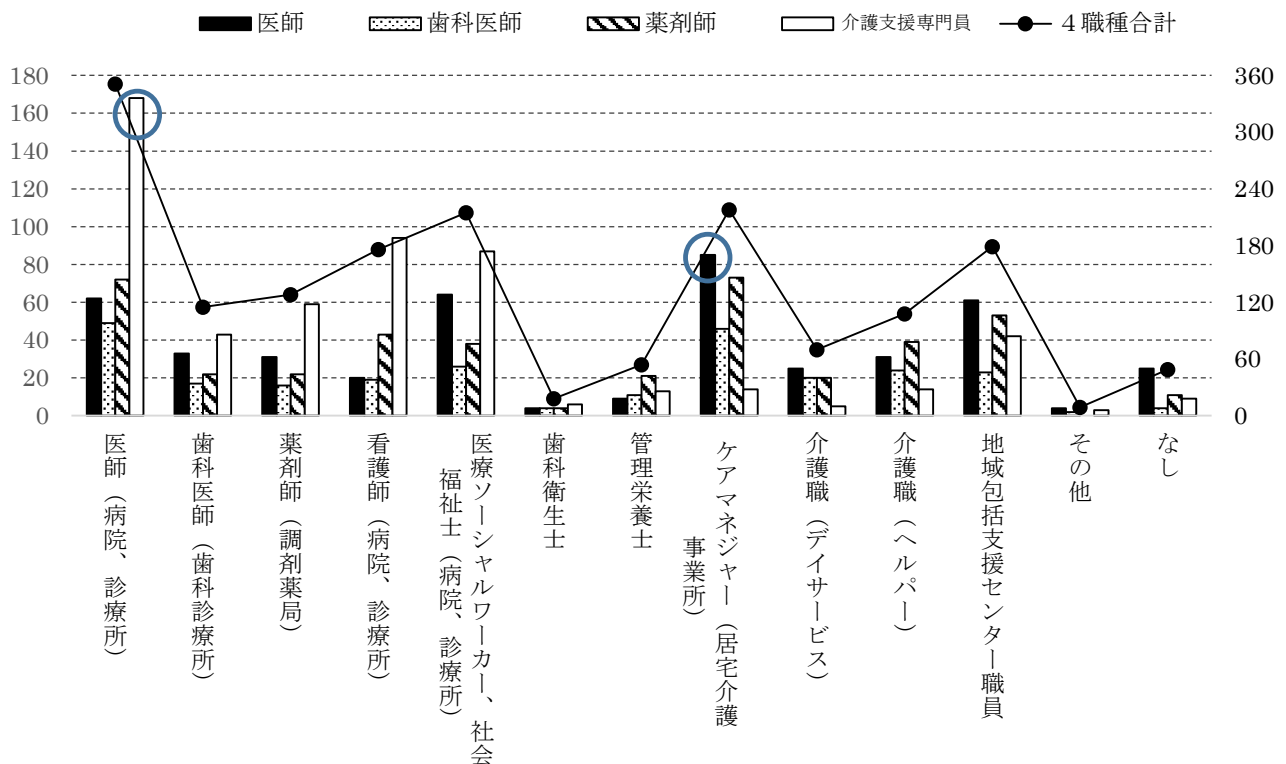


○介護支援専門員（ケアマネジャー）は医療関係職種（特に、医師）と連携が取りにくいと感じている。

○医師は介護職（介護支援専門員、デイサービス、ヘルパー）と連携が取りにくいと感じている。

問4. 今後、更に連携を強化していく必要があると思われる事業所、職種を上げて下さい。
 (上位3つまで。選択肢に適切なものが無い場合は、「その他」に具体的な職種や機関名を記入して下さい。)(回答：医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員)

	4職種合計		医師		歯科医師		薬剤師		ケアマネ	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
医師（病院、診療所）	351	20.8%	62	13.7%	49	18.8%	72	17.2%	168	30.2%
歯科医師（歯科診療所）	115	6.8%	33	7.3%	17	6.5%	22	5.3%	43	7.7%
薬剤師（調剤薬局）	128	7.6%	31	6.8%	16	6.1%	22	5.3%	59	10.6%
看護師（病院、診療所）	176	10.4%	20	4.4%	19	7.3%	43	10.3%	94	16.9%
医療ソーシャルワーカー、社会福祉士（病院、診療所）	215	12.7%	64	14.1%	26	10.0%	38	9.1%	87	15.6%
歯科衛生士	18	1.1%	4	0.9%	4	1.5%	4	1.0%	6	1.1%
管理栄養士	54	3.2%	9	2.0%	11	4.2%	21	5.0%	13	2.3%
ケアマネジャー（居宅介護支援事業所）	218	12.9%	85	18.7%	46	17.6%	73	17.5%	14	2.5%
介護職（デイサービス）	70	4.1%	25	5.5%	20	7.7%	20	4.8%	5	0.9%
介護職（ヘルパー）	108	6.4%	31	6.8%	24	9.2%	39	9.3%	14	2.5%
地域包括支援センター職員	179	10.6%	61	13.4%	23	8.8%	53	12.7%	42	7.5%
その他	9	0.5%	4	0.9%	2	0.8%	0	0.0%	3	0.5%
なし	49	2.9%	25	5.5%	4	1.5%	11	2.6%	9	1.6%

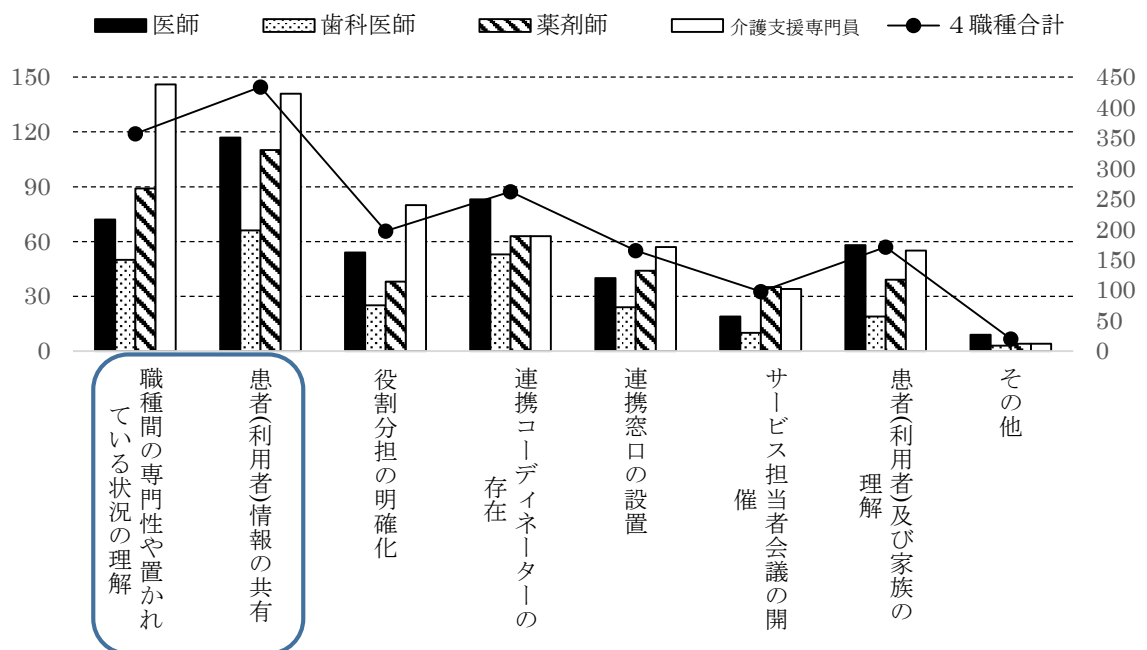


- 介護支援専門員（ケアマネジャー）は医療職の中でも特に、医師との連携強化が必要と感じている。
- 医師も介護支援専門員（ケアマネジャー）との連携強化が必要と感じている。
- 歯科医師と薬剤師は、医師と介護支援専門員（ケアマネジャー）に対する連携強化が必要と感じている。

問5. 多職種間の連携がうまくいくには何が必要と思われますか。(上位3つまで。選択肢に適切なものが無い場合は、「その他」に具体的な内容を記入して下さい。)

(回答：医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員)

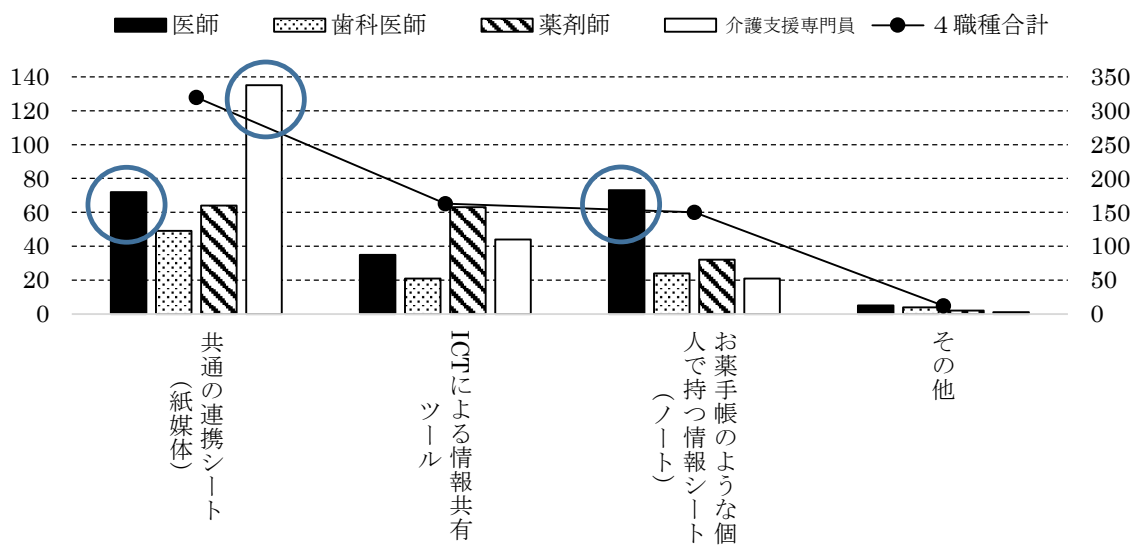
	4職種合計		医師		歯科医師		薬剤師		ケアマネ	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
職種間の専門性や置かれている状況の理解	357	21.0%	72	15.9%	50	20.0%	89	21.1%	146	25.2%
患者(利用者)情報の共有	434	25.5%	117	25.9%	66	26.4%	110	26.1%	141	24.3%
役割分担の明確化	197	11.6%	54	11.9%	25	10.0%	38	9.0%	80	13.8%
連携コーディネーターの存在	262	15.4%	83	18.4%	53	21.2%	63	14.9%	63	10.9%
連携窓口の設置	165	9.7%	40	8.8%	24	9.6%	44	10.4%	57	9.8%
サービス担当者会議の開催	98	5.8%	19	4.2%	10	4.0%	35	8.3%	34	5.9%
患者(利用者)及び家族の理解	171	10.0%	58	12.8%	19	7.6%	39	9.2%	55	9.5%
その他	20	1.2%	9	2.0%	3	1.2%	4	0.9%	4	0.7%



- 4職種とも「患者(利用者)情報の共有」が必要と感じている。
- 介護支援専門員(ケアマネジャー)は「職種間の専門性や置かれている状況の理解」が最多。
- 次いで、職種間の専門性や置かれている状況の理解と、連携コーディネーターの存在が多い。

問6. 多職種との連携において、最も有効と思われるツールを一つ選んでください。
 (回答：医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員)

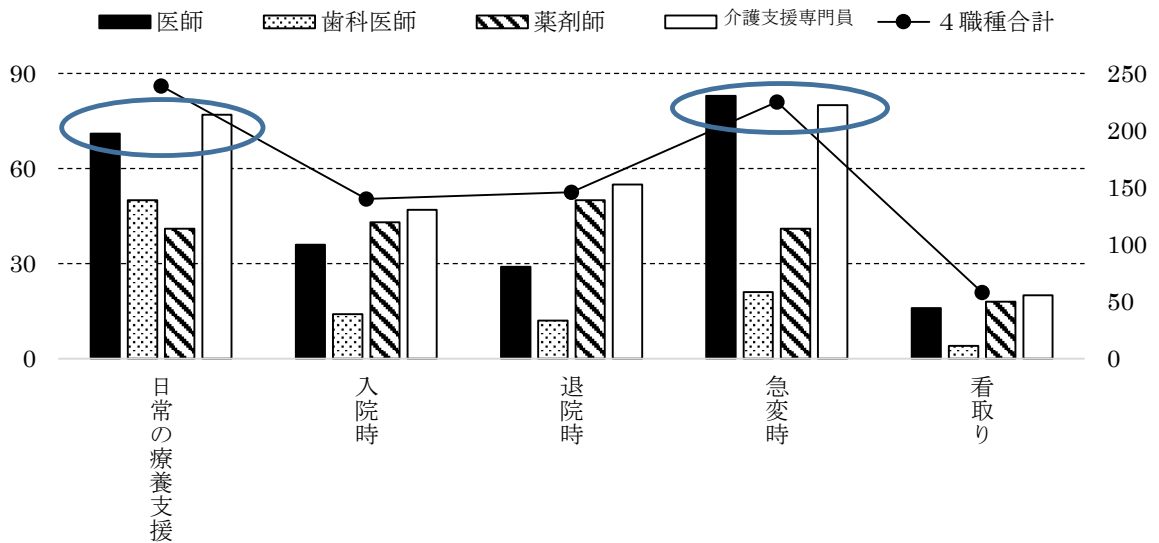
	4職種合計		医師		歯科医師		薬剤師		ケアマネ	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
共通の連携シート（紙媒体）	320	49.6%	72	38.9%	49	50.0%	64	39.8%	135	67.2%
ICTによる情報共有ツール	163	25.3%	35	18.9%	21	21.4%	63	39.1%	44	21.9%
お薬手帳のような個人で持つ情報シート（ノート）	150	23.3%	73	39.5%	24	24.5%	32	19.9%	21	10.4%
その他	12	1.9%	5	2.7%	4	4.1%	2	1.2%	1	0.5%



○介護支援専門員（ケアマネジャー）は共通の連携シート（紙媒体）が最も多いが、医師はお薬手帳のような個人で持つ連携シート（ノート）と共通の連携シート（紙媒体）が半々となっている。

問7. 多職種間の連携が特にうまくいっていない場面はどこですか。(複数回答可)
 (回答 : 医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員)

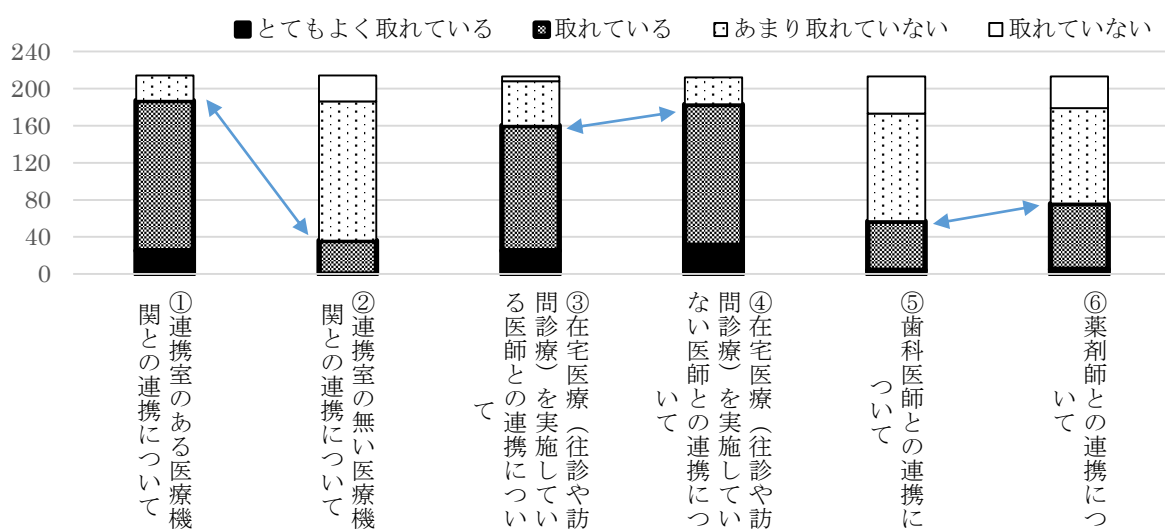
	4職種合計		医師		歯科医師		薬剤師		ケアマネ	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
日常の療養支援	239	29.6%	71	30.2%	50	49.5%	41	21.2%	77	27.6%
入院時	140	17.3%	36	15.3%	14	13.9%	43	22.3%	47	16.8%
退院時	146	18.1%	29	12.3%	12	11.9%	50	25.9%	55	19.7%
急変時	225	27.8%	83	35.3%	21	20.8%	41	21.2%	80	28.7%
看取り	58	7.2%	16	6.8%	4	4.0%	18	9.3%	20	7.2%



○「日常の療養支援」と「急変時」が多く、医師と介護支援専門員（ケアマネジャー）は「急変時」が最多であった。

問8. 医療機関や医療職との連携についてお尋ねします。どれくらい連携が図れていると思いますか、一つ選んでください。(回答: 介護支援専門員)

	①連携室のある医療機関との連携について		②連携室の無い医療機関との連携について		③在宅医療(往診や訪問診療)を実施している医師との連携について		④在宅医療(往診や訪問診療)を実施していない医師との連携について		⑤歯科医師との連携について		⑥薬剤師との連携について	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
とてもよく取れている	25	11.7%	0	0.0%	25	11.7%	31	14.6%	4	1.9%	5	2.3%
取れている	162	75.7%	36	16.8%	135	63.4%	152	71.7%	53	24.9%	71	33.3%
あまり取れていない	27	12.6%	150	70.1%	48	22.5%	29	13.7%	116	54.5%	103	48.4%
取れていない	0	0.0%	28	13.1%	5	2.3%	0	0.0%	40	18.8%	34	16.0%



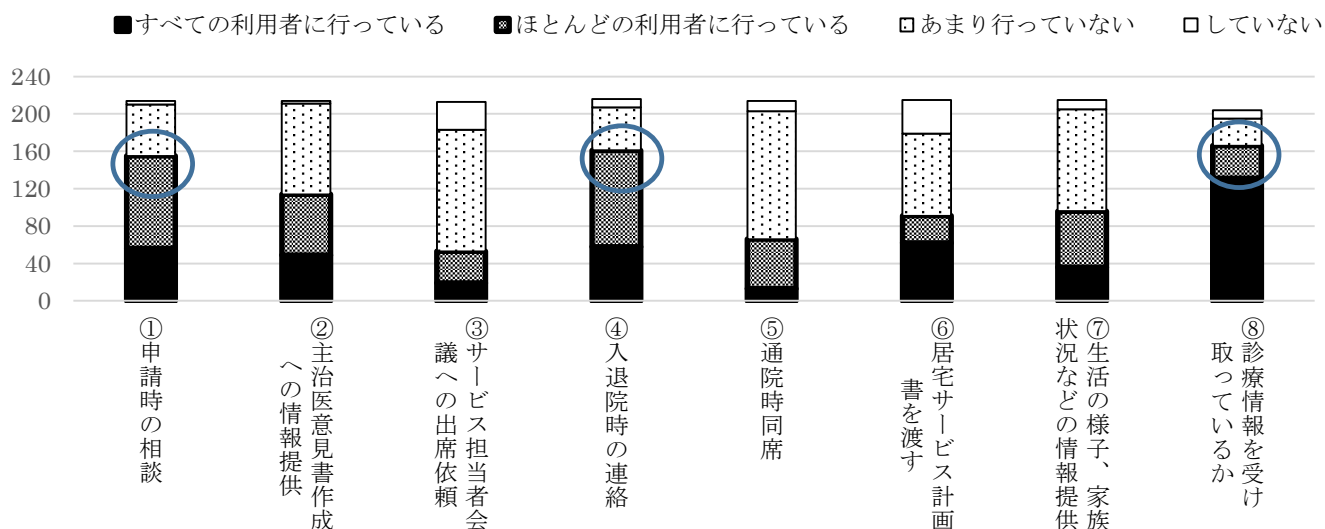
- (①、②) 介護支援専門員(ケアマネジャー)は、連携室のある医療機関との連携は取れているが、無い医療機関との連携は取れていないと感じている。
- (③、④) 在宅医療の実施の有無に関わらず、連携は取れていると感じている。
- (⑤、⑥) 歯科医師と薬剤師とは、あまり取れていないと感じている。

問9. 日常の療養生活について

①主治医への関わりはどの程度されていますか、一つ選んでください。(回答：介護支援専門員)

	①申請時の相談		②主治医意見書作成への情報提供		③サービス担当者会議への出席依頼		④入退院時の連絡		⑤通院時同席		⑥居宅サービス計画書を渡す		⑦生活の様子、家族状況などの情報提供		※ ⑧診療情報を受け取っているか	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
すべての利用者に行っている	56	26.2%	49	22.9%	19	8.9%	58	26.9%	13	6.1%	62	28.8%	36	16.7%	131	64.2%
ほとんどの利用者に行っている	99	46.3%	65	30.4%	34	16.0%	103	47.7%	53	24.8%	29	13.5%	60	27.9%	35	17.2%
あまり行っていない	55	25.7%	97	45.3%	130	61.0%	46	21.3%	137	64.0%	88	40.9%	109	50.7%	29	14.2%
していない	4	1.9%	3	1.4%	30	14.1%	9	4.2%	11	5.1%	36	16.7%	10	4.7%	9	4.4%

※注意：「⑧診療情報を受け取っているか」の回答選択肢については、
 「すべての利用者に行っている」 → 「訪問診療が入っているほぼ全員の利用者」
 「ほとんどの利用者に行っている」 → 「訪問診療が入っているほぼ半数の利用者」
 「あまり行っていない」 → 「ほとんど受け取っていない」
 「していない」 → 「受け取っていない」

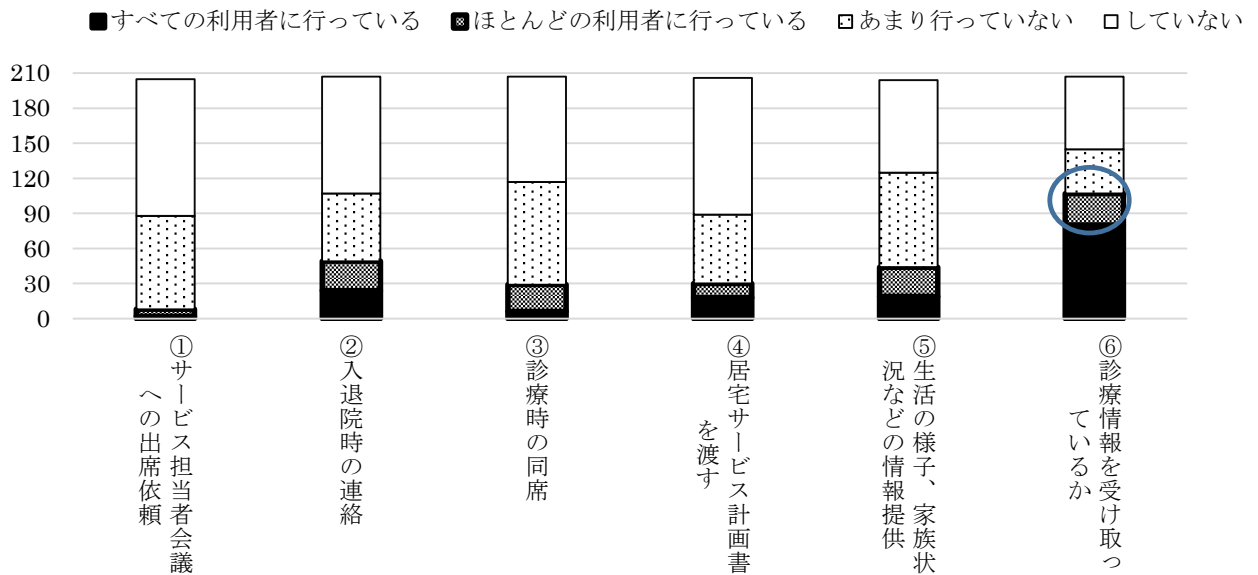


- 介護支援専門員（ケアマネジャー）は主治医と、①申請時の相談と④入退院時の連絡は7割以上行っているが、③サービス担当者会議への出席依頼と⑤通院時同席は3割程度の実施。
- ⑧訪問診療が入っている利用者の診療情報は8割程度受け取っている。

②歯科医師との関わりについて、一つ選んでください。（回答：介護支援専門員）

	①サービス担当者会議への出席依頼		②入退院時の連絡		③診療時の同席		④居宅サービス計画書を渡す		⑤生活の様子、家族状況などの情報提供		※⑥診療情報を受け取っているか	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
すべての利用者に行っている	2	1.0%	24	11.6%	6	2.9%	18	8.7%	19	9.3%	80	38.6%
ほとんどの利用者に行っている	6	2.9%	25	12.1%	23	11.1%	12	5.8%	25	12.3%	27	13.0%
あまり行っていない	80	39.0%	58	28.0%	88	42.5%	59	28.6%	81	39.7%	38	18.4%
していない	117	57.1%	100	48.3%	90	43.5%	117	56.8%	79	38.7%	62	30.0%

※注意：「⑥診療情報を受け取っているか」の回答選択肢については、
 「すべての利用者に行っている」 → 「訪問診療が入っているほぼ全員の利用者」
 「ほとんどの利用者に行っている」 → 「訪問診療が入っているほぼ半数の利用者」
 「あまり行っていない」 → 「ほとんど受け取っていない」
 「していない」 → 「受け取っていない」



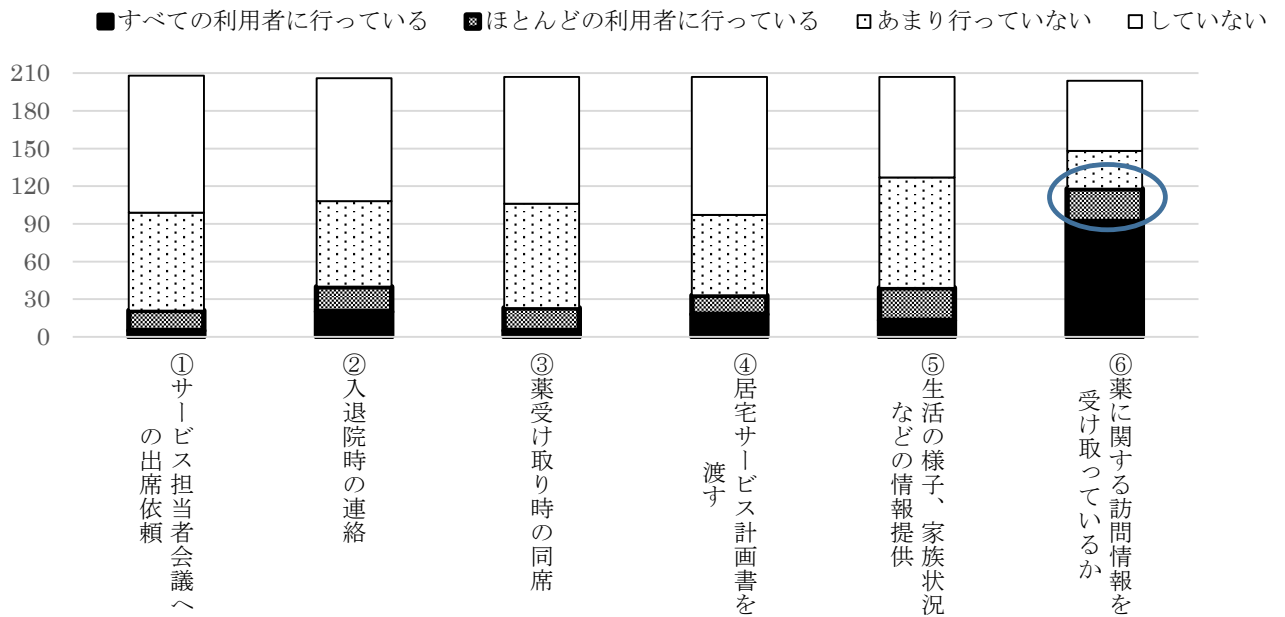
○介護支援専門員（ケアマネジャー）は歯科医師と、①～⑤について2割以下の実施。

○⑧訪問診療が入っている利用者の診療情報は5割程度受け取っている。

③薬剤師との関わりについて、一つ選んでください。（回答：介護支援専門員）

	①サービス担当者会議への出席依頼		②入退院時の連絡		③薬受け取り時の同席		④居宅サービス計画書を渡す		⑤生活の様子、家族状況などの情報提供		※⑥薬に関する訪問情報を受け取っているか	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
すべての利用者に行っている	5	2.4%	20	9.7%	5	2.4%	18	8.7%	13	6.3%	92	45.1%
ほとんどの利用者に行っている	16	7.7%	20	9.7%	18	8.7%	15	7.2%	26	12.6%	26	12.7%
あまり行っていない	78	37.5%	68	33.0%	83	40.1%	64	30.9%	88	42.5%	30	14.7%
していない	109	52.4%	98	47.6%	101	48.8%	110	53.1%	80	38.6%	56	27.5%

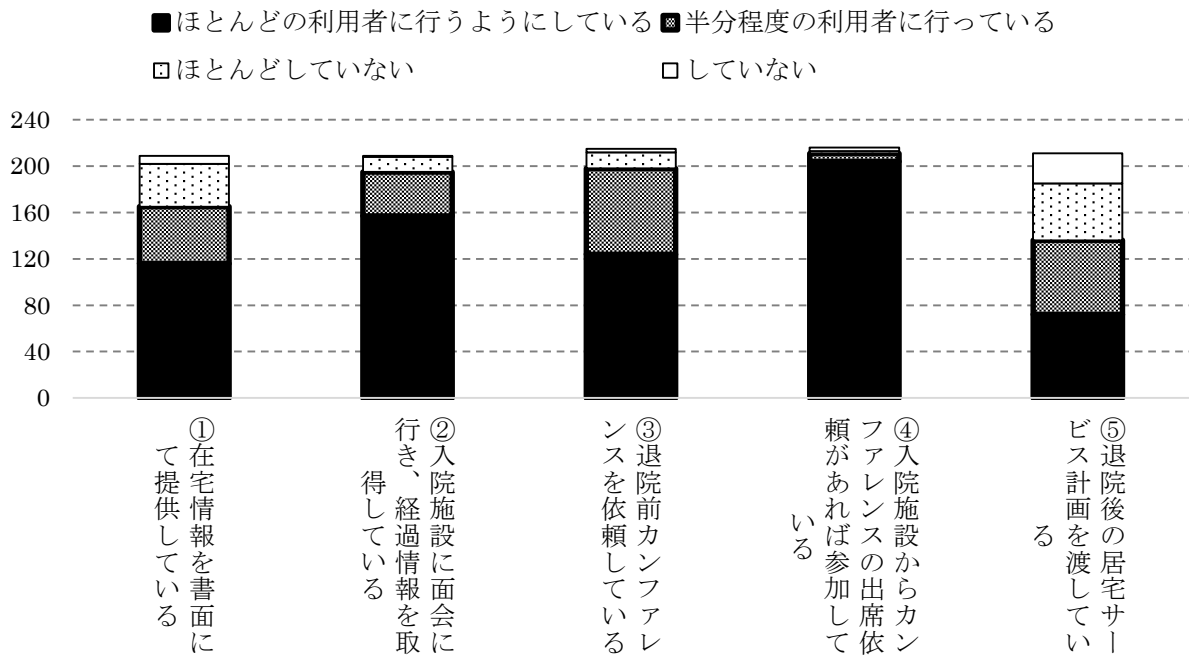
※注意：「⑥薬に関する情報を受け取っているか」の回答選択肢については、
 「すべての利用者に行っている」 → 「訪問診療が入っているほぼ全員の利用者」
 「ほとんどの利用者に行っている」 → 「訪問診療が入っているほぼ半数の利用者」
 「あまり行っていない」 → 「ほとんど受け取っていない」
 「していない」 → 「受け取っていない」



- 介護支援専門員（ケアマネジャー）は薬剤師と、①～⑤について2割以下の実施。
- ⑧訪問診療が入っている利用者の薬に関する情報は6割程度受け取っている。

問10. 入退院時、入院施設との連携について、一つ選んでください。(回答：介護支援専門員)

	①在宅情報を書面にて提供している		②入院施設に面会に行き、経過情報を取得している		③退院前カンファレンスを依頼している		④入院施設からカンファレンスの出席依頼があれば参加している		⑤退院後の居宅サービス計画を渡している	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ほとんどの利用者に行うようにしている	116	55.5%	157	75.1%	124	57.7%	204	94.4%	72	34.1%
半分程度の利用者に行っている	49	23.4%	38	18.2%	74	34.4%	7	3.2%	64	30.3%
ほとんどしていない	37	17.7%	13	6.2%	14	6.5%	2	0.9%	49	23.2%
していない	7	3.3%	1	0.5%	3	1.4%	3	1.4%	26	12.3%

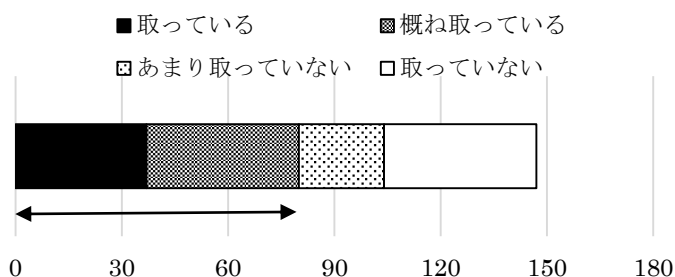


○介護支援専門員（ケアマネジャー）は入院施設（病院）との連携はよく図れている。④入院施設からのカンファレンスの出席依頼には、ほぼすべて参加しており、①②③についてもほとんどの利用者を実施している。

問 1 1. 看取りの際の連携

看取りを希望する患者に対し、介護支援専門員（ケアマネジャー）等、介護との連携を取っていますか（回答：医師）

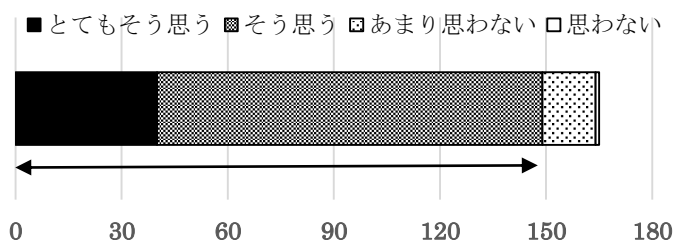
	件数	割合
取っている	37	25.2%
概ね取っている	43	29.3%
あまり取っていない	24	16.3%
取っていない	43	29.3%



○看取りにおいて、医師は看取りを希望する患者に対し、ケアマネジャーと連携しているのは約半数。

看取り場面において医療と介護の連携はうまく取れていますか
（回答：在宅での看取りに関わった経験がある介護支援専門員）

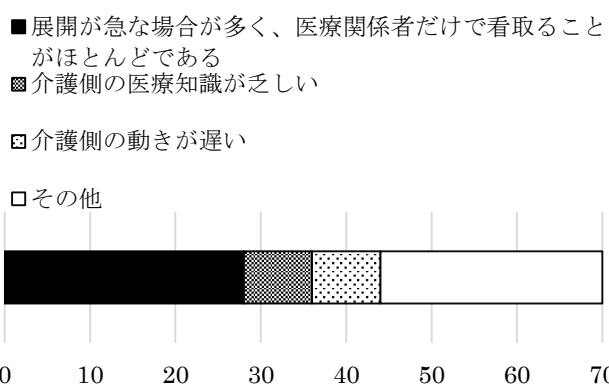
	件数	割合
とてもそう思う	40	24.2%
そう思う	109	66.1%
あまり思わない	15	9.1%
思わない	1	0.6%



○看取りに関わった経験のある介護支援専門員（ケアマネジャー）の9割は「連携はうまく取れている」と答えている。

看取りを希望する患者に対し、介護支援専門員（ケアマネジャー）等、介護との連携を「あまり取っていない」「取っていない」の理由は何ですか。（回答：医師）

	件数	割合
展開が急な場合が多く、医療関係者だけで看取ることがほとんどである	28	40.0%
介護側の医療知識が乏しい	8	11.4%
介護側の動きが遅い	8	11.4%
その他	26	37.1%

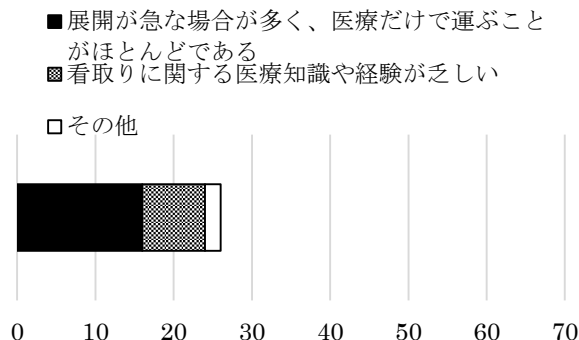


※「その他」の内容

看取りのケースが少ない。看取りを行っていない。看取りの経験が無い。見取りの事例が少ないため。
 入院での看取りはあるが、在宅での看取りはしていない。当院の医師マンパワーでは、在宅看取りは不可能です。
 前もっての看取りの連絡は無いため。訪問看護と連携が取れば十分である。
 看取り対応可能な施設へ紹介する。開業して時間が経っておらず、そういう状況にない。
 在宅医療を行っていない。地域連携担当者に任せている。施設入所中の方しか見取りをしたことがないので必要なかった。

看取り場面において医療と介護の連携は「あまり思わない・思わない」と答えた方へ、取れていない理由は何だと思えますか。(回答:「在宅での看取りに関わった経験がある介護支援専門員」)

	件数	割合
展開が急な場合が多く、医療だけで運ぶことがほとんどである	16	61.5%
看取りに関する医療知識や経験が乏しい	8	30.8%
その他	2	7.7%



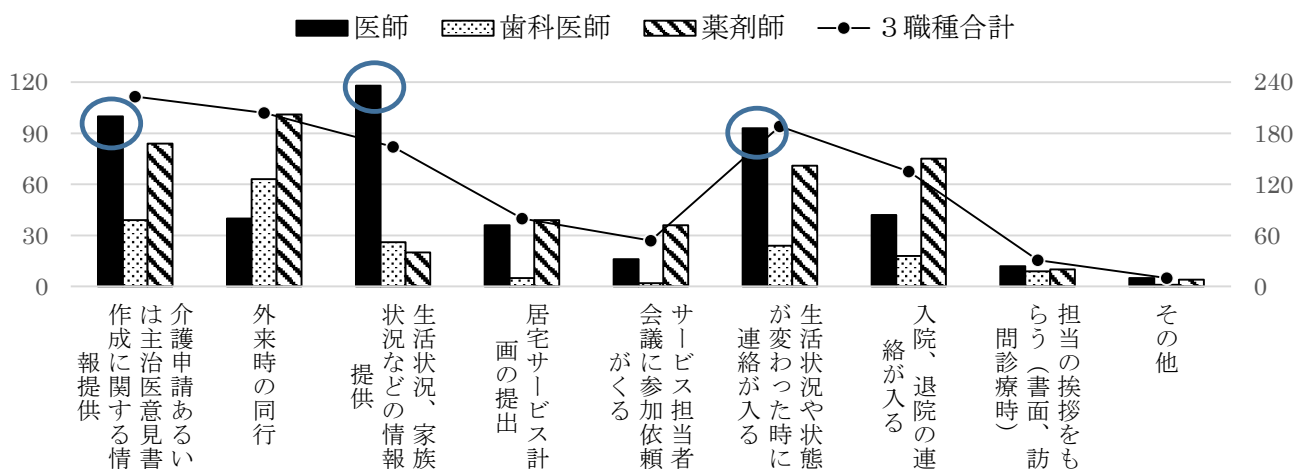
※「その他」の内容

- ・ 家族に理解してもらうのに時間がかかり手間取る。
- ・ 基礎資格が介護系のケアマネジャーだとできることが限られてくる。連携は確かに必要だが、そこを強く求めるのであれば、基礎資格は看護師にしなければならないと思う。

問12. 介護支援専門員(ケアマネジャー)との連携について

① 関わりのある介護支援専門員に求めること

	3職種合計		医師		歯科医師		薬剤師	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
介護申請あるいは主治医意見書作成に関する情報提供	223	20.5%	100	21.6%	39	20.9%	84	19.1%
外来時の同行	204	18.7%	40	8.7%	63	33.7%	101	23.0%
生活状況、家族状況などの情報提供	164	15.1%	118	25.5%	26	13.9%	20	4.5%
居宅サービス計画の提出	80	7.3%	36	7.8%	5	2.7%	39	8.9%
サービス担当者会議に参加依頼がくる	54	5.0%	16	3.5%	2	1.1%	36	8.2%
生活状況や状態が変わった時に連絡が入る	188	17.3%	93	20.1%	24	12.8%	71	16.1%
入院、退院の連絡が入る	135	12.4%	42	9.1%	18	9.6%	75	17.0%
担当の挨拶をもらう(書面、訪問診療時)	31	2.8%	12	2.6%	9	4.8%	10	2.3%
その他	10	0.9%	5	1.1%	1	0.5%	4	0.9%

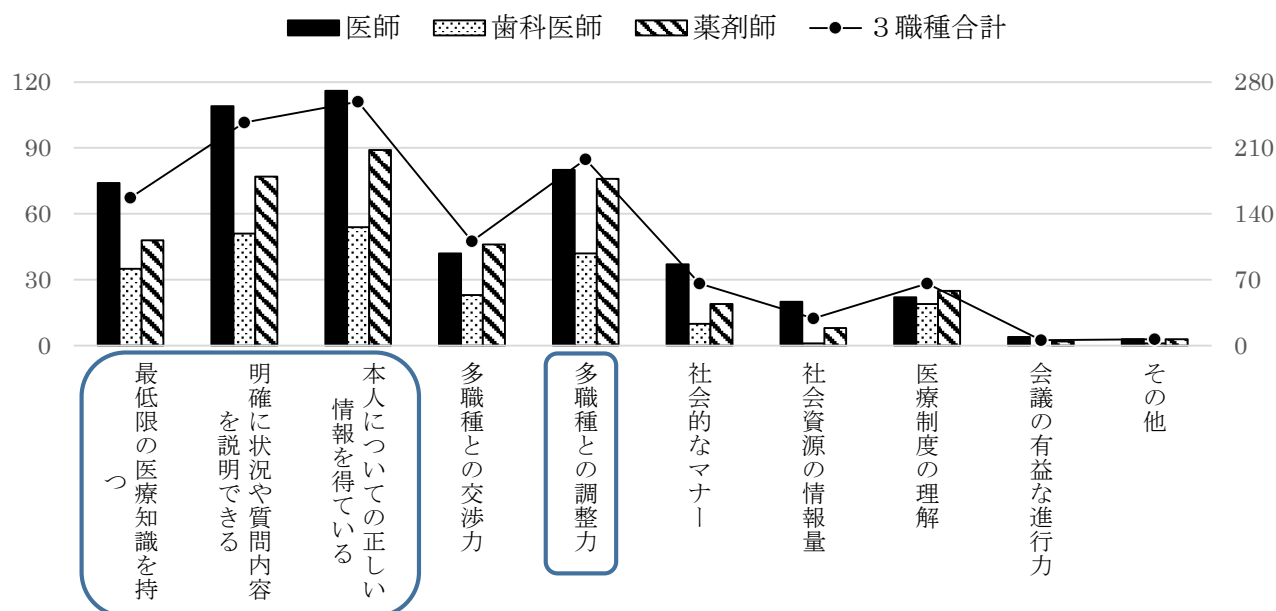


○ 医師で特に多いのは「生活状況、家族状況などの情報提供」「介護申請あるいは主治医意見書作成に関する情報提供」「生活状況や状態が変わった時に連絡が入る」

○ 歯科医師と薬剤師で多いのは、「外来時の動向」「介護申請あるいは主治医意見書作成に関する情報提供」

②介護支援専門員（ケアマネジャー）に求める力量について

	3職種合計		医師		歯科医師		薬剤師	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
最低限の医療知識を持つ	157	13.8%	74	14.6%	35	14.8%	48	12.2%
明確に状況や質問内容を説明できる	237	20.9%	109	21.5%	51	21.6%	77	19.6%
本人についての正しい情報を得ている	259	22.8%	116	22.9%	54	22.9%	89	22.6%
多職種との交渉力	111	9.8%	42	8.3%	23	9.7%	46	11.7%
多職種との調整力	198	17.4%	80	15.8%	42	17.8%	76	19.3%
社会的なマナー	66	5.8%	37	7.3%	10	4.2%	19	4.8%
社会資源の情報量	29	2.6%	20	3.9%	1	0.4%	8	2.0%
医療制度の理解	66	5.8%	22	4.3%	19	8.1%	25	6.4%
会議の有益な進行力	6	0.5%	4	0.8%	0	0.0%	2	0.5%
その他	7	0.6%	3	0.6%	1	0.4%	3	0.8%

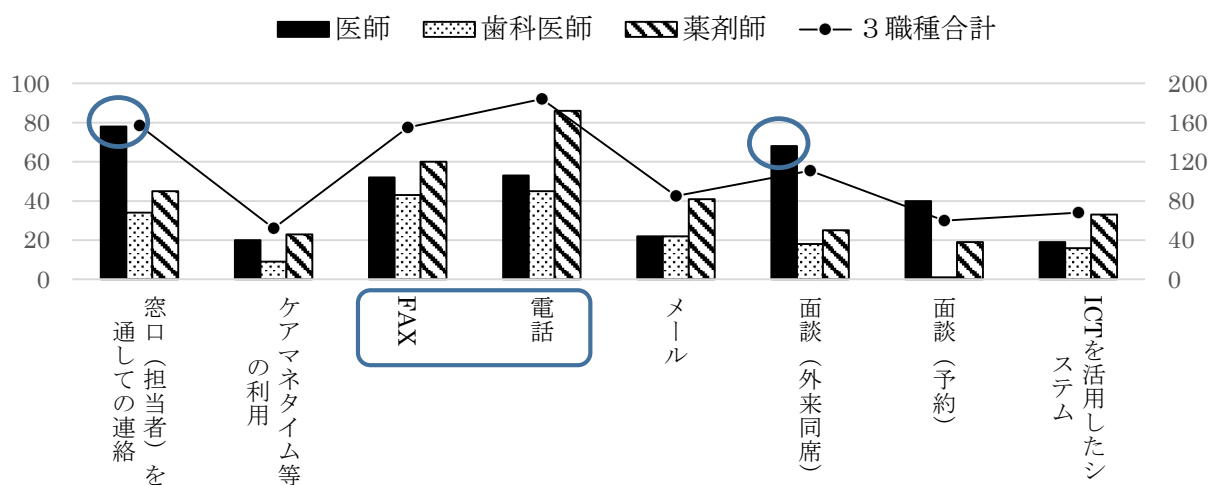


○医師、歯科医師、薬剤師とも共通して、「本人についての正しい情報を得ている」「明確に状況や質問内容を説明できる」「多職種との調整力」「最低限の医療知識を持つ」の順に多い。

○患者（利用者）の正確な情報を的確に伝えたり、多職種と調整を図るコミュニケーション能力が求められている。

③介護支援専門員（ケアマネジャー）との希望する連絡方法について

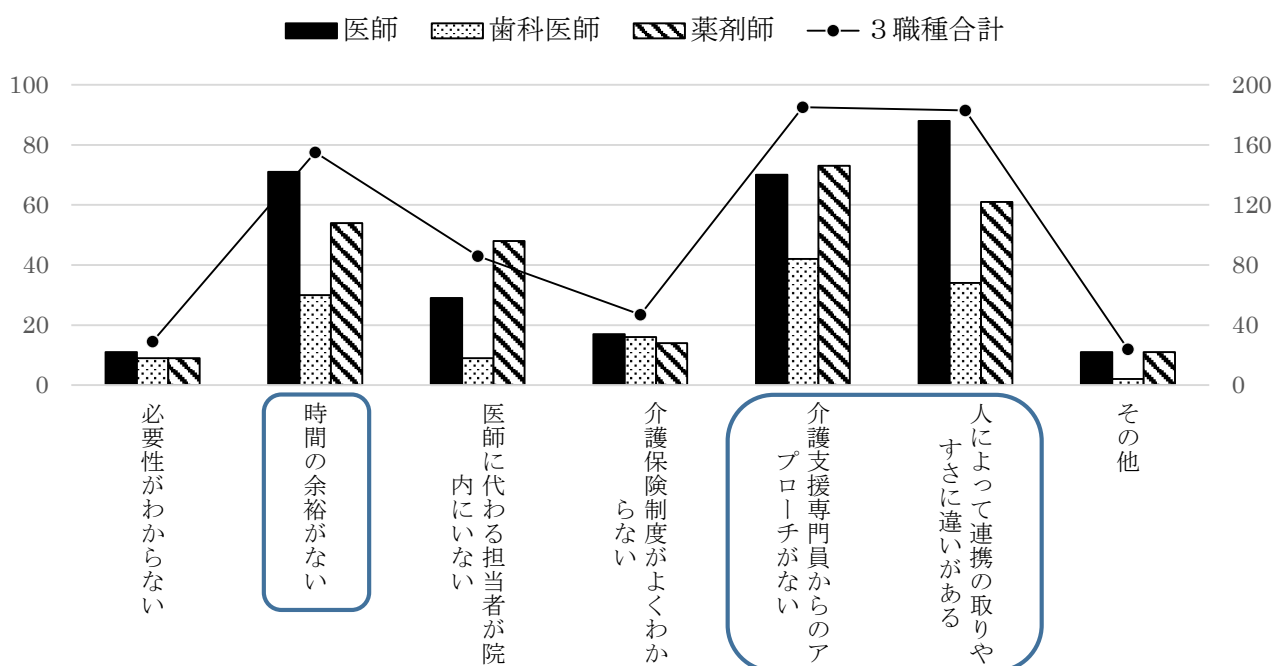
	3職種合計		医師		歯科医師		薬剤師	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
窓口（担当者）を通しての連絡	157	18.0%	78	22.2%	34	18.1%	45	13.6%
ケアマネタイム等の利用	52	6.0%	20	5.7%	9	4.8%	23	6.9%
FAX	155	17.8%	52	14.8%	43	22.9%	60	18.1%
電話	184	21.1%	53	15.1%	45	23.9%	86	25.9%
メール	85	9.7%	22	6.3%	22	11.7%	41	12.3%
面談（外来同席）	111	12.7%	68	19.3%	18	9.6%	25	7.5%
面談（予約）	60	6.9%	40	11.4%	1	0.5%	19	5.7%
ICTを活用したシステム	68	7.8%	19	5.4%	16	8.5%	33	9.9%



○医師は「窓口（担当者）を通しての連絡」「面談（外来同席）」が多く、歯科医師と薬剤師は「電話」「FAX」が多い。

④介護支援専門員（ケアマネジャー）との連携に支障となっていること

	3職種合計		医師		歯科医師		薬剤師	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
必要性がわからない	29	4.2%	11	3.8%	9	6.4%	9	3.5%
時間の余裕がない	155	22.6%	71	24.8%	30	21.4%	54	20.8%
医師に代わる担当者が院内にいない	86	12.6%	29	10.1%	9	6.4%	48	18.5%
介護保険制度がよくわからない	47	6.9%	17	5.9%	16	11.4%	14	5.4%
介護支援専門員からのアプローチがない	185	27.0%	70	24.5%	42	30.0%	73	28.2%
人によって連携の取りやすさに違いがある	183	26.7%	88	30.8%	34	24.3%	61	23.6%
その他	24	3.5%	11	3.8%	2	1.4%	11	4.2%



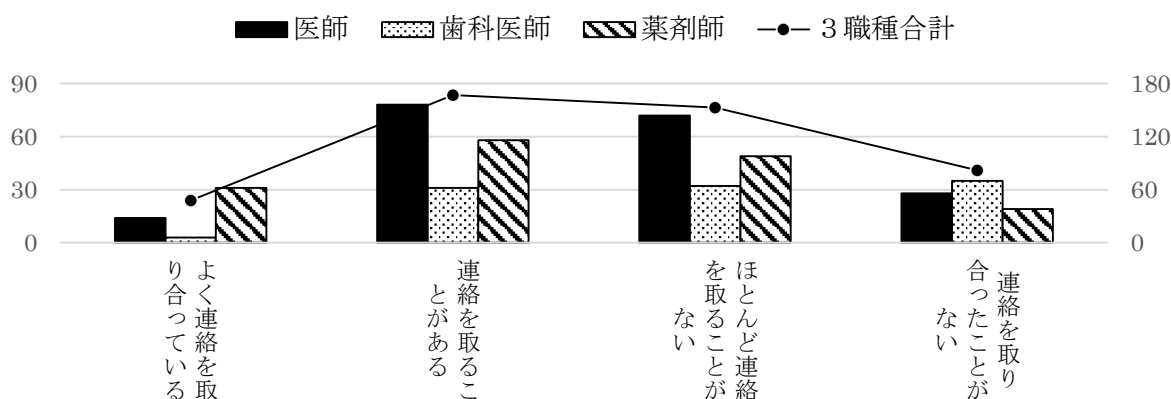
○医師、歯科医師、薬剤師とも「介護支援専門員からのアプローチがない」「人によって連携の取りやすさに違いがある」が多く、医師は「時間の余裕がない」も多い。

○介護支援専門員（ケアマネジャー）の、多忙な医師に対する遠慮や、経験差による能力のばらつき等が支障となっている。

問13. 介護支援専門員（ケアマネジャー）以外の介護関係者（デイサービスの職員やヘルパー等）との連携について

①介護支援専門員（ケアマネジャー）以外の介護関係者（デイサービスの職員やヘルパー等）と連絡を取り合ったことがあるか

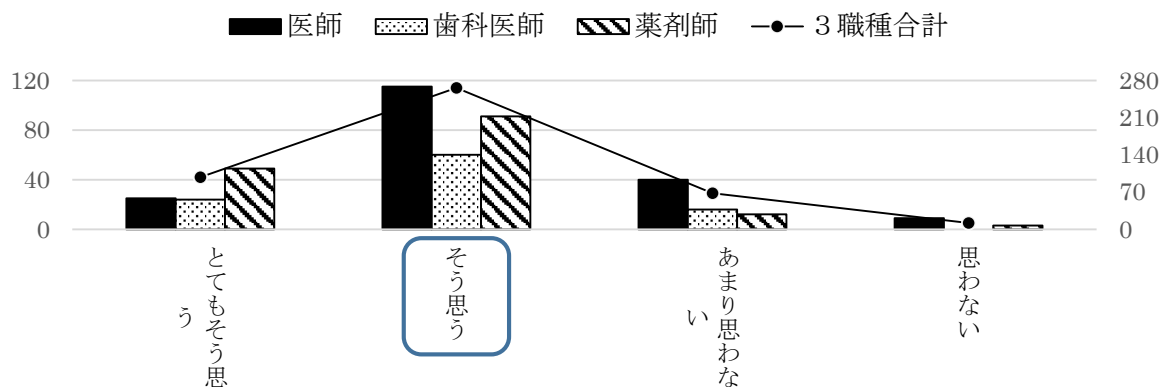
	3職種合計		医師		歯科医師		薬剤師	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
よく連絡を取り合っている	48	10.7%	14	7.3%	3	3.0%	31	19.7%
連絡を取ることがある	167	37.1%	78	40.6%	31	30.7%	58	36.9%
ほとんど連絡を取ることがない	153	34.0%	72	37.5%	32	31.7%	49	31.2%
連絡を取り合ったことがない	82	18.2%	28	14.6%	35	34.7%	19	12.1%



○医師、歯科医師、薬剤師とも半数以上は、ほとんど連絡を取ることが無いと答えている。

②介護支援専門員（ケアマネジャー）以外の介護関係者（デイサービスの職員やヘルパー等）とも直接連携を取る必要性を感じますか。

	3職種合計		医師		歯科医師		薬剤師	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
とても思う	98	22.1%	25	13.2%	24	24.0%	49	31.6%
思う	266	59.9%	115	60.8%	60	60.0%	91	58.7%
あまり思わない	68	15.3%	40	21.2%	16	16.0%	12	7.7%
思わない	12	2.7%	9	4.8%	0	0.0%	3	1.9%



○連携を取った経験の有無に関わらず、医師、歯科医師、薬剤師とも介護支援専門員（ケアマネジャー）以外の介護関係者と連携を取る必要性を感じている。